

アレルギー性結膜炎のお話

眼科 いなだ 稲田 のりこ 紀子

2月中旬からスギ花粉が飛散し始めました。花粉症の方にとっては憂鬱な季節だと思えます。この時期におこる眼のかゆみ、充血、涙目は、花粉によるアレルギー性結膜炎が原因のことがあります。アレルギー性結膜炎とは、アレルゲンと呼ばれる原因物質が眼の表面に飛入することで、結膜に炎症を起こした状態をいいます。

春の花粉症のアレルゲンはスギやヒノキですが、初夏にはカモガヤ、秋にはブタクサやヨモギなどによる花粉症もあります。また、通年性アレルギー性結膜炎と呼ばれる年間を通して症状が出現する場合には、ダニ、カビ、ペット（ネコ、イヌ、ハムスターなど）などが主なアレルゲンになります。自分がアレルギー体質なのかどうか、また、どのアレルゲンと反応し易いかについては、血液検査で判定することができますので、通年性の方や、症状の重い方は、ご自

分が反応し易いアレルゲンについて予め知っておくことも重要なアレルギー対策の1つになります。

アレルギー性結膜炎の治療には点眼薬を使用します。症状の強さによって、アレルギー反応を抑える点眼薬、かゆみ物質や炎症を抑える点眼薬などを使い分けます。点眼薬の種類によっては、緑内障などの副作用が出現することもありますので、眼科での検査や管理が必要です。

また、最近では花粉が飛び始める前から点眼薬を使用する初期療法、あるいは季節前投与方法と呼ばれる治療法が行われています。眼の症状全てを抑える治療法ではありませんが、花粉飛散期の症状を軽くしたり、症状が出現している期間を短くするといった効果が期待できますので、早めに眼科医に相談していただき、適切な時期に症状に合った点眼薬をご使用いただくことをお勧めします。